

ポーランド経済・金融概況  
Main Economic & Financial Indicators (Poland)

経済調査室  
Economic Research Office  
(照会先: 石原尚子 naoko.ishihara@uk.mufg.jp)

概況	消費/消費者心理
<p>ポーランド経済は、緩やかな拡大基調を維持している。2014 年の実質 GDP 成長率は前年比+3.3%と、3 年ぶりに加速した。個人消費と総固定資本形成がそれぞれ同+3.1%、同+9.5%と高めの伸びとなり、成長率を押し上げた。一方、純輸出は、堅調な内需を背景に 4 年ぶりに輸入の伸びが輸出を上回り、成長への寄与度がマイナスに転じた。また、今年第1四半期の実質 GDP 成長率(速報値)も前期比+1.0%と、拡大ペースを維持した。足元も、失業率の低下や実質賃金の増加など良好な雇用・所得環境を背景に小売売上が堅調に推移している。また鉱工業生産も、国内需要の回復や輸出の持ち直しを受けて、自動車、家電等を中心に伸びが高まってきている。</p> <p>先行きに目を転じると、燃料、食料品価格の下落や雇用拡大が家計の実質可処分所得を増加させるほか、記録的な低金利も消費下支え要因となろう。消費抑制要因として懸念されていた急速なスイスフラン高・ズロチ安進行の影響は、その後ズロチ相場がある程度持ち直したことにより、今のところ顕在化は免れている。企業投資については、ロシア・ウクライナ問題や米・中国景気の減速、力強さを欠くユーロ圏景気など不透明要因は残るものの、低金利や堅調な国内消費に支えられ、安定推移が期待できよう。中銀は 3 月のインフレレポートで、2015 年の実質 GDP 成長率予想を+3.4%とし、内需の回復を背景に前回 11 月の見通し値(同+3.0%)から引き上げた。一方、インフレ率については同▲0.5%と、原油などの国際商品価格の下落を理由に前回の同+1.0%からマイナスに引き下げている。</p>	<p>3 月の実質小売売上は前年比+6.6%と、前月の同+2.4%から伸びが加速した。食料品、家電製品、衣料品等の売上反発が寄与した。4 月の失業率(未季調値)は 11.3%と、前年同月の 13.0%から低下したほか、賃金の伸びも名目・実質ともに増加トレンドを維持している。消費者信頼感指数は、1 月のスイスフラン急騰で、フラン建の住宅ローンを保有する家計の債務負担増加への懸念が高まり、2、3 月には弱含みの動きがみられた。しかし、ズロチ相場がある程度反発したことに加え、比較的堅調な国内景気や先行き見通しの改善から、直近 4 月の同指数は、2008 年秋以来の高水準に回復している。</p> <p>(前年比、%) 物価、実質賃金、消費者マインド (バランス、%)</p> <p>(資料) Macrobond より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年)</p>
GDP	物価、金融政策
<p>第1四半期の実質 GDP 成長率(速報値)は前期比+1.0%と前期の同+0.8%から加速した。需要項目別の詳細はリリースされていないが、個人消費が引き続き成長を押し上げた模様である。足元、主要輸出先であるユーロ圏の景気にはやや明るい兆しが見られるものの、地政学的リスクが高止まりするなか依然として下振れ懸念は根強い。当面は、輸出の景気牽引力は限定的なものに止まり、消費を主体とした内需主導の成長となろう。</p> <p>(前期比、%) 実質GDP成長率と需要項目別寄与度</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年)</p>	<p>4 月の消費者物価上昇率は、前年比▲1.1%と前月から下げ幅が縮小した。燃料、食料品価格の下落幅縮小が寄与した。</p> <p>ポーランド中銀は 3 月 3-4 日開催の金融政策委員会において、政策金利を 0.5%ポイント引き下げ、1.5%とした。中銀は「昨年第4 四半期、ポーランドの経済活動は若干減速した」とし、「雇用情勢の改善にもかかわらず、賃金上昇圧力は低く、弱めの世界景気を背景に輸入インフレ圧力も抑えられている。景気の先行き不透明感が根強く残る状況下、国内需要の本格的な活性化は望めず、企業、家計のインフレ期待は低水準に止まっている」との見解を示した。また、足元 5 月の金融政策委員会では政策金利は 1.5%で据え置かれた。中銀は「インフレ率は当面マイナスが続く」とする一方で、「ユーロ圏の緩やかな景気回復や良好な国内の労働市場を背景に、インフレ率が中期的にインフレ目標値を下回るリスクは後退した」という見解を示した。</p>
生産	国際収支
<p>4 月の鉱工業生産は、前年比+2.3%と、前月の同+8.8%から減速した。製造業が同+2.5%と前月の同+9.5%から低下し、全体を押し下げた。ただし、最近数ヶ月の伸び率の推移をみると、月次で上下に変動しながらも基調は緩やかな上昇トレンドを維持している。昨年末以降、EU 域内向けを中心に輸出数量の伸びに持ち直しの兆候が現れており、生産の拡大傾向を支えているとみられる。4 月の製造業購買担当者指数(PMI)も 54.0 と、直近のピークとなった 1 月の 55.2 からは若干低下しているが、比較的高めの水準を保っている。また、PMI の構成項目のうち新規輸出受注は 54.4 と 2 ヶ月連続で上昇し、昨年 2 月以来の高水準となった。</p>	<p>2014 年の経常収支赤字は 75.8 億ドル(対 GDP 比 1.4%)と、3 年ぶりに前年の赤字額を上回った。低迷するユーロ圏景気、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫などを背景に輸出が減速する一方、輸入は堅調な内需を受けて伸びが高まり、赤字幅が拡大した。しかし、年後半に進んだ原油価格の大幅下落で、2014 年全体の経常赤字増加はある程度抑制された。先行きについては、内需主導の緩やかな景気拡大が予想される中、経常赤字は増加傾向で推移する公算が大きい。</p>
財政収支	財政収支
	<p>2014 年の財政収支は対 GDP 比 3.2%と、前年の同 4.0%から改善した。景気回復に伴う歳入増加に加え、年金制度改革により民間基金保有の国債が国に移管されたことで利払いが減り、歳出も減少した。ポーランドの財政赤字は 2008 年以來、EU の規定で定められた 3%基準を上回っており、同国は過度の財政赤字是正手続き(EDP)下に置かれている。景気回復を追い風に、政府は 2015 年の EDP 解除を目指して、財政再建を進めるとしている。</p>

# ポーランド経済・金融概況

## 1. 年、四半期

		2012	2013	2014	14/Q1	14/Q2	14/Q3	14/Q4	15/Q1
名目GDP実額	(10億米ドル)	496.2	525.9	546.5	132.0	137.7	135.5	141.1	-
実質GDP成長率(季節調整値)	(前期比、%)	1.8	1.7	3.3	1.1	0.7	0.9	0.8	1.0
	(前年比、%)				3.5	3.6	3.3	3.3	3.5
(民間消費支出)	(前期比、%)	1.0	1.1	3.1	0.8	0.9	0.9	0.9	-
	(前年比、%)				2.9	3.0	3.2	3.1	-
(総固定資本形成)	(前期比、%)	▲ 1.5	0.9	9.5	4.2	1.2	2.3	1.4	-
	(前年比、%)				11.2	8.7	9.9	9.0	-
鉱工業生産	(前年比、%)	1.4	2.3	3.4	4.9	3.8	1.5	3.3	5.1
小売売上(実質)	(前年比、%)	3.1	2.6	4.0	5.0	5.0	3.0	3.0	4.2
銀行貸出伸び率	(前年比、%)	1.5	4.2	7.0	5.2	4.8	5.5	7.0	7.2
消費者物価上昇率	(前年比、%)	3.7	0.9	▲ 0.0	0.6	0.3	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 1.5
名目賃金上昇率	(前年比、%)	3.5	2.6	3.8	4.1	4.0	3.5	3.4	3.9
失業率	(%)	12.8	13.5	12.3	13.8	12.5	11.7	11.4	11.9
貿易収支	(百万米ドル)	▲ 13,730	▲ 2,601	▲ 3,236	▲ 599	▲ 588	▲ 901	▲ 1,113	2,352
輸出額	(百万米ドル)	185,307	205,005	216,210	55,131	56,326	53,485	51,640	48,690
	輸出伸び率 (前年比、%)	▲ 1.7	10.6	5.5	12.4	13.1	2.9	▲ 4.9	▲ 11.7
輸入額	(百万米ドル)	199,037	207,606	219,446	55,730	56,914	54,386	52,753	46,338
	輸入伸び率 (前年比、%)	▲ 5.3	4.3	5.7	10.4	15.2	4.8	▲ 5.7	▲ 16.9
経常収支	(百万米ドル)	▲ 17,631	▲ 6,856	▲ 7,578	▲ 1,669	▲ 1,091	▲ 2,358	▲ 2,460	-
資本収支	(百万米ドル)	▲ 322	4,933	9,485	▲ 3,164	5,816	38	6,795	-
	対内直接投資 (百万米ドル)	7,189	12	14,160	5,567	3,235	4,995	363	-
外貨準備高	(百万米ドル)	103,396	102,236	96,462	98,560	97,592	97,708	96,462	93,231
対外債務残高	(百万米ドル)	366,717	382,818	352,024	381,833	390,685	371,844	352,024	-
株価指数		41,613	48,323	52,209	51,557	52,042	52,336	52,878	52,458
短期金利(interbank3m)		4.91	3.02	2.51	2.71	2.71	2.59	2.06	1.87
長期金利(Gov.10y bond yields)		5.00	4.03	3.52	4.38	3.81	3.27	2.60	2.25
Zloty/USD		3.26	3.16	3.16	3.05	3.04	3.15	3.38	3.72
Zloty/Euro		4.18	4.20	4.19	4.18	4.17	4.17	4.21	4.19
Zloty/GBP		5.16	4.94	5.19	5.05	5.11	5.26	5.34	5.64

## 2. 月次

		14/09	10	11	12	15/01	2	3	4
鉱工業生産	(前年比、%)	4.2	1.6	0.3	7.9	1.7	4.9	8.8	2.3
小売売上(実質)	(前年比、%)	3.0	3.7	1.4	4.0	3.6	2.4	6.6	-
銀行貸出伸び率	(前年比、%)	5.5	6.7	6.9	7.0	7.5	7.1	7.2	-
消費者物価上昇率	(前年比、%)	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 1.5	▲ 1.1
名目賃金上昇率	(前年比、%)	3.4	3.8	2.7	3.7	3.6	3.2	4.9	-
失業率	(%)	11.5	11.3	11.4	11.5	12.0	12.0	11.7	11.3
貿易収支	(百万米ドル)	266	15	▲ 95	▲ 1,015	750	1,029	582	-
輸出額	(百万米ドル)	18,974	19,377	17,694	14,655	15,775	15,783	17,117	-
	輸出伸び率 (前年比、%)	1.9	▲ 4.0	▲ 3.3	▲ 7.1	▲ 13.1	▲ 10.9	▲ 11.2	-
輸入額	(百万米ドル)	18,708	19,362	17,788	15,670	15,025	14,755	16,535	-
	輸入伸び率 (前年比、%)	3.4	▲ 5.5	▲ 5.4	▲ 5.6	▲ 17.8	▲ 17.6	▲ 15.5	-
株価指数		54,405	53,277	53,265	52,142	51,370	52,459	53,546	55,547
短期金利(interbank3m)		2.45	2.07	2.03	2.06	2.03	1.92	1.67	1.65
長期金利(Gov.10y bond yields)		3.10	2.72	2.54	2.55	2.21	2.20	2.33	2.37
Zloty/USD		3.25	3.32	3.37	3.44	3.67	3.68	3.81	3.72
Zloty/Euro		4.19	4.21	4.21	4.22	4.28	4.18	4.13	4.02
Zloty/GBP		5.29	5.33	5.33	5.36	5.57	5.63	5.71	5.57

(注) 貿易収支は通関ベース

(資料) ポーランド中央銀行、Macrobond他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身で判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。